



佐々木 貴史

安全・安心なまちづくり
について

問 ①児童虐待について児童相談所における緊急安全確認を伺う②市教委として虐待防止の取り組みを伺う③流行する風疹の拡大防止に向け、国が4月から実施する対策の概要と市での具体的な流れを伺う。

答 ①虐待を主訴とする在宅指導中の児童を関係機関職員が前で確認②教職員による日常的観察、S・Wの困難ケース支援等③3年間原則無料で市が送るクーポン券で検査を受け、結果により予防接種を受ける。

市民要望の実現に向けて

問 ①民生・児童委員の欠員地域に関連して、資格要件と活動費の増額を伺う②高齢者見守りステッカーを要望③一時保育が利用しづらく利用料の見直しを求める④公園、児童遊園に時計の設置を要望。

答 ①社会福祉推進に理解と熱意がある健康な方等。増額は検討課題②紹介いただいたものも含め検討③低所得世帯減免は継続、周知や定員拡大を図る④一定規模の面積、利用者が多い等の条件を勘案し検討。

地域内分権について、
新しい参加と協働

問 ①地縁型住民自治組織(町会)についての現状認識②都市内分権とは③協議会型住民自治組織(以下「協議会型」という)とは④当市の「市民参加と協働の条例」は協議会型に代表的性格を付与できるか。

答 ①加入率の減少に危機感②都市自治体の区域を幾つかに区分けし住民代表的な組織を置くもの③多様な主体による地域課題の解決のための組織④市としてどのような組織体制とするのか、考え判断していく。



山田 たくじ

狛江らしい市民センター
(シビックセンター)とは

問 ①財政も踏まえ予算シミュレーションを行うべきでは②イタリアの「本が迫ってこない」屋根の広がる広場」とはどのような図書館か③公民館再編の動きとは④改修問題を市民共通の話題にする方策如何。

答 ①中期財政計画の中で財源不足が見込まれている②滞在型の図書館③公民館等のあり方を改めて考える事例が各地で広がっている④利用者だけでなく、様々な意見を聞き、より深く議論したい。

誰もが尊重され尊厳ある
生活をするために

問 ①自立支援介護とおむつせろとは②看取りケアの参考事例③当事者と支援者・専門家の共同が必要。当事者研究から得られるものは④障がいのある方々の就労形態、就労状況と課題や要望⑤C型就労とは。

答 ①自立を達成し改善等を支援。施設で声掛けを実施し自立を促す②横須賀市の取り組み③心身回復に向けた大きな力④福祉就労や常勤、パートアルバイト等。理解促進等課題⑤「地域とともにある」就労継続支援。



吉野 芳子

コンパクトシティ狛江の
魅力を発信しよう

問 ①外国人おもてなし語学ボランティア講座の実施状況と成果②「やさしい日本語」の見解と導入③民泊の現状と営業形態と市の対応④「ロケットリズム」の内容、今後の進め方。

答 ①14回実施。受講者が市イベントに参加②有効なツールになり得る。ラゲビーW杯の案内等で活用検討③市内6件受理。空室がある建物対象。都に情報提供④先進市の取組紹介等。ロケ地の情報発信強化。

狛江に住んでいる人の
ために

問 ①市民の命を預かる市長は災害時に積極果敢に取組んでほしい。見解を②広域的連携をどのように考えていくのか③総合窓口は正面入り口に背を向けた位置であるため、移設も考慮すべきと考えるが見解を。

答 ①多摩川水害、中越地震、東日本大震災で学んだことを職員や市民に伝え、災害対応力向上に繋げる②効果は認識。ICTにより離れた自治体との連携も考えられる③窓口表示を認識しやすくなるよう検討する。



三角 武久

ISO活動について

問 ①ISO活動への見解②ISO取得のメリット③ISO14001取得の効果④ISOのデメリット⑤第三者審査による認証取得で住民等の信頼を得られると思うが市の見解は。

答 ①質の高いサービス創出等②無駄な業務の縮小等によるコスト削減等③環境保全施策への市民の信頼向上、職員の意識改革等④効果が出るまで時間がかかる等⑤環境基本計画に基づき市民等と環境保全の取り組みを推進。

問 ①地域クラウドファンディング市民向け説明会は②商業振興プラン素案で市民・事業者の巻き込みは③空き店舗活用は④商店街アンケート今後に向けて挙げられた声は⑤集いの場、コミュニティビジネス、テレワークへの支援は⑥農業の六次産業化についての所見は⑦市の広報ツール制作時に管理職発のオリエンシートが必要。実施に向けて解決する課題は⑧市内デザイナー等のプロボノ活用は⑨デザイン専門職の登用は。



三宅 眞

デザインのチカラが社会的課題を解決する

問 ①事業者の協力による勉強会等を検討②市民・事業者へアンケート調査、商店会長等へヒアリング実施③空き店舗情報の周知が必要④商店街をコミュニティスペースとして活用できないか等⑤住民同士の交流の場の設置・運営、女性の活躍等に必要支援を検討⑥今後も先進的な事例を調査・研究⑦実施の意義、目的、効果等を理解することが重要である⑧プロボノ活用も方法の一つと考える⑨自治体では事例が少ないため、先行事例等を注視しながら研究する。

答 ①幼児教育・保育無償化の内容について②多子世帯への新たな支援策が必要だと思うが市の考えは③世田谷児童相談所の再編を踏まえた児童虐待対応体制の強化を図るべきと考えが市の認識と対応は。

問 ①認可保育所等の3、5歳児と住民税非課税世帯の0、2歳児は無償化。認可外保育施設や新制度未移行幼稚園等も限度額まで無償化②都補助制度拡充も含め支援③複合施設移転後のセンターで充実を図る。



太田 久美子

子育て支援の総合的支援
について

問 ①審議会等の設置、アンケートの実施等②長期的視点での施策立案、未来を担う人材の育成等③新たな視点からの提案等、会議の目的が図られている④市がますます成長充実し魅力あるまちにしていきたい。

問 ①将来のまちづくりを示す新たな基本構想・基本計画の策定状況について②市長公約である未来戦略会議の位置付けは③未来戦略会議についての市長の感想は④次期総合計画策定にあたり市長の考えは。

答 ①必要性は感じている。口腔ケアの意識向上を図っていく②狛江市健康づくり推進協議会で議論していく③健康こまえ21の中間見直しの中で条例の制定についても議論する。

問 ①岩戸北2丁目人口の増加数は②喜多見駅狛江市側改札口復活の市民要望はあるか③改正まちづくり条例、市民提案制度とは④喜多見駅狛江市側改札口設置について市の見解は。

答 ①7年で704人増②アンケート等を通じ狛江側にもあればとの意見あり③まちづくりへの考えや意見を持った方々でグループ等を組織し、市はその活動に要する費用補助等の支援を行う④必要性を認識。小田急電鉄と相談したい。



辻村 ともこ

歯科保健衛生推進条例の
必要性(パート4)

問 ①嘱託職員の歯周病検診の実施は必要では②健康こまえ21改定と予防歯科明記について③デンタルIQの高い行政運営こそ、医療費抑制と全身疾患未病対策だ。歯科条例設置への市の見解は。

問 ①狛江市は、刑法犯の認知件数はどのような状況か。また、今後どのような施策を推進していくかとしているのか②事件や犯罪を発見した時、仕返しや怖いと感じている市民がいるが、どこへ通報したら良いのか③災害時の情報連携システムSIP4Dとはどのようなものか④消防団招集サイレン吹鳴をやめた理由。また、今後サイレン吹鳴は行わないのか⑤市民の方から公衆トイレ設置要望はあるのか。さらに東京2020大会へ向けて、公衆トイレ新設計画はあるのか。

答 ①平成30年378件。発生件数、人口1000人当たり件数は都内区市で最少。警察署、防犯協会等と連携し、特殊詐欺に対する防犯啓発を推進②警察庁の「匿名通報ダイヤル」を利用③多数の府省庁・関係機関の間で、横断的な情報共有・利活用ができるシステム④近隣からの苦情など。メール配信での招集を基本とする⑤市長への手紙等で要望がある。2020大会の対応を目的とする新設計画はない。



栗山 剛

安心して安全なまちづくり
について

問 ①市民の命を預かる市長は災害時に積極果敢に取組んでほしい。見解を②広域的連携をどのように考えていくのか③総合窓口は正面入り口に背を向けた位置であるため、移設も考慮すべきと考えるが見解を。

答 ①多摩川水害、中越地震、東日本大震災で学んだことを職員や市民に伝え、災害対応力向上に繋げる②効果は認識。ICTにより離れた自治体との連携も考えられる③窓口表示を認識しやすくなるよう検討する。

問 ①ISO活動への見解②ISO取得のメリット③ISO14001取得の効果④ISOのデメリット⑤第三者審査による認証取得で住民等の信頼を得られると思うが市の見解は。

答 ①質の高いサービス創出等②無駄な業務の縮小等によるコスト削減等③環境保全施策への市民の信頼向上、職員の意識改革等④効果が出るまで時間がかかる等⑤環境基本計画に基づき市民等と環境保全の取り組みを推進。